

すぐにできる環境管理システム

なごや環境ノート

事業者向け



目次

1 環境にやさしい事業活動をめざそう

- 自主的な取組の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 環境配慮への取組は、経営改善につながります・・・・・・ 3

2 「なごや環境ノート」の使い方

- 「なごや環境ノート」のねらい・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 「なごや環境ノート」の活用方法・・・・・・・・・・・・ 5
- ①環境への負荷量を知る・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - 環境チェックシート（記入用）
- ②取組事項と目標の立て方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - 目標達成のための取組例
- ③行動計画の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ④活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ⑤活動の点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑥活動の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

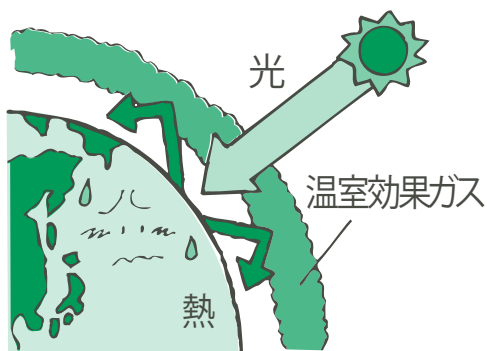
1 環境にやさしい事業活動をめざそう

物の製造や販売などさまざまな事業活動は、人々を経済的に豊かにし、快適で便利な生活基盤を築く原動力となってきました。しかし、いまや事業活動や消費生活に伴う大量のエネルギーや資源の消費は、地球温暖化の原因となったり、ごみ問題を深刻化させるようになりました。

とくに地球温暖化は人類の生存基盤に関わる環境問題であり、将来の世代に深刻な影響を与え、しかも元の状態に戻すことができない問題です。

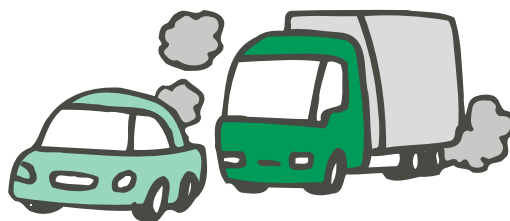
地球温暖化のメカニズム

地球の平均気温は、大気中の水蒸気や二酸化炭素などの温室効果ガスにより約15℃に保たれ、生物の育成に適した環境をつくっています。しかし、人間の活動によって石油や石炭などの化石燃料が大量に使用され、二酸化炭素などの濃度が増え過ぎると、温室効果が高まり、地球の平均気温が上昇してしまいます。こうした地球温暖化は、海水面の上昇だけでなく、異常気象の頻発、水資源の不足、農業生産の減少、伝染病の流行など、自然や人間社会に深刻な影響を与えると予測されています。



名古屋市から排出される二酸化炭素の部門別構成比

生産活動などの産業部門とオフィスなどの民生業務部門の合計で、市の排出量のほぼ半数を占めています。また、事業活動に関わる輸送は、運輸部門に計上されていることから、実際の市の排出量の半分以上は事業活動が占めています。とくに対策が進んでいないオフィスや自動車からの二酸化炭素の削減が急がれています。



これからも人類が持続的に発展するには、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出を抑え、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムを変革する必要があります。それには事業活動の基盤となっているエネルギーや資源の使用量を削減するなど、環境への負荷の少ない事業活動が求められています。

自主的な取組の必要性

かつての産業公害では、原因や加害者と被害者の関係が比較的明らかであるため、公害防止には行政による規制、指導、監督が有効でした。

しかし、地球温暖化や都市・生活型の公害は、エネルギーの消費、ごみの排出、自動車の運行など、ごく当たり前の活動が原因のため、誰もが加害者となり、かつ被害者となりうる状況が生じています。また、生活の一部である日常の行為や普通の事業活動について、すべて規制や指導などの手法で対処することは不可能です。

したがって問題の解決には、行政や市民との協働のもと、事業活動の基盤となる環境の保全に向けた「自主的な取組」が重要です。いま、環境改善を経営に取り入れたISO14001の取得、環境会計や環境報告書など、環境への配慮を事業活動に組み入れていく事業者が増えています。



トピック 事業者の自主的な取組

● ISO14001

国際標準化機構（ISO）が発行している環境管理システム構築の手順を定めた国際規格。

● 環境会計

環境保全のための投資や経費、その効果を把握するための会計手法。経営者にとっては自らの環境保全への取組を定量的に把握し、環境保全の費用対効果を向上させるための目安となります。また、投資家にとっては、事業者の環境への取組状況を同じ尺度で比較する際に有効なツールとなります。

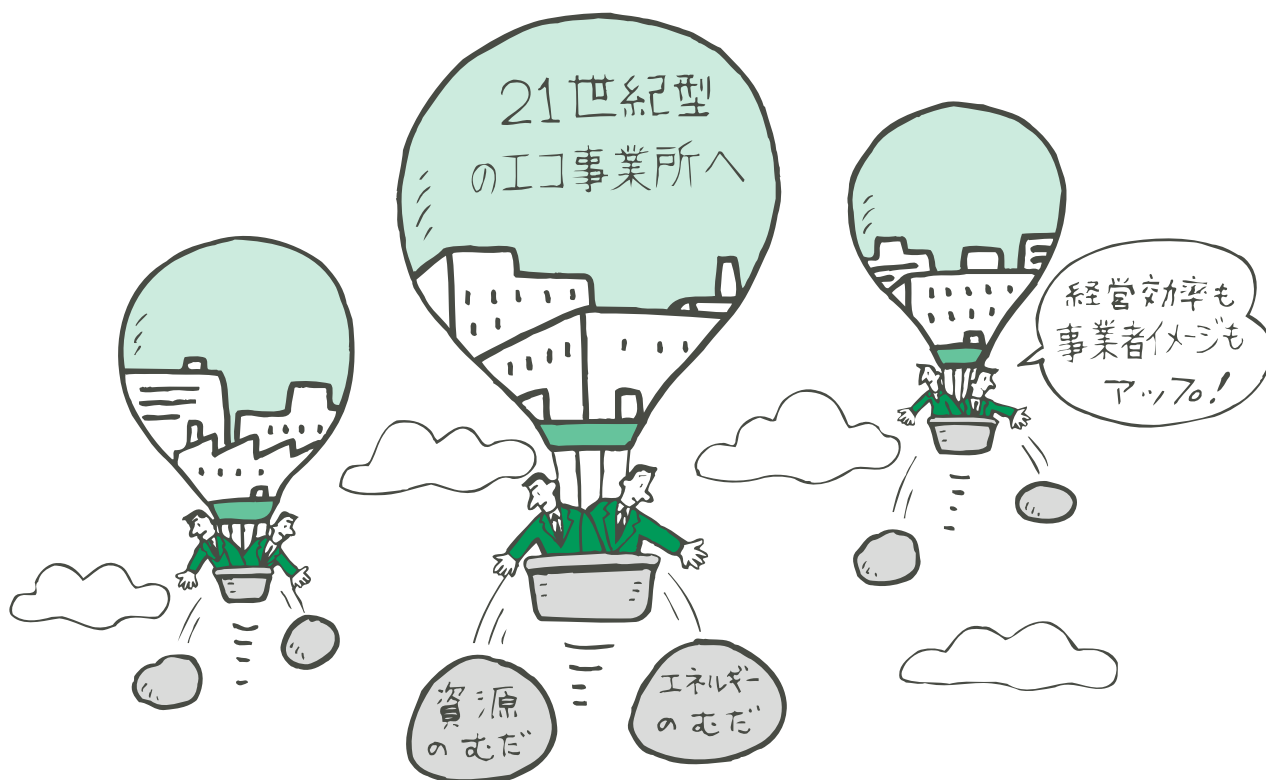
環境配慮への取組は、経営改善につながります

環境配慮への取組の一つとして、ISO14001に代表される環境管理システムの構築に取り組んだ事業者では、省エネルギーや省資源などによるコストの削減や環境リスクの回避が可能となったりしています。間接的な効果としては、目的管理の定着、作業の標準化による業務の効率化などの経営改善にもつながっています。

さらには、従業員の環境に対する意識の向上や事業者のイメージアップなども期待できます。

一方、こうした事業者の取組は、市民にとっても製品やサービスを購入する際や事業者に対する投資を行ったりする時の大きな目安にもなります。

環境配慮の取組は、持続可能な事業活動に不可欠であるとともに、21世紀の事業活動の大きな柱となるものであり、社会的に避けて通れない状況になりつつあります。



トピック チャレンジしてみませんか？エコ事業所認定制度

「エコ事業所」認定制度は、事業活動における環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所について、名古屋市が「エコ事業所」として認定する制度です。

エコ事業所に認定されると、市から認定証と認定プレートが交付されます。また、エコ事業所であることを示す認定ロゴマークを印刷物に使用できます。

さらに、市が行う入札制度において、一定の優遇措置を受けることができます。

2 「なごや環境ノート」の使い方

「なごや環境ノート」のねらい

「なごや環境ノート」は、事業者のみなさんが環境にどのような負荷を与えているのか認識し、自主的に削減目標を立て、具体的な環境保全活動を実施していただくための手引書です。一般のオフィスから製造業・サービス業まであらゆる業種を対象とし、環境配慮への取組の輪を広げようというものです。

環境管理システムの考え方・手順・環境チェックシートなどを盛り込んでいますので、「ISO14001を取得するまでには至らないが、環境配慮への取組を行いたい」という事業所で、簡易な環境管理システムを構築する際の参考にさせていただきたいと思います。



PDCAサイクル

PLAN (プラン)

環境への負荷量を把握して、その低減に向けた目標を立て、行動計画を作成



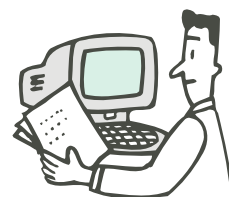
DO (ドゥ)

計画に基づいて活動を実施



CHECK (チェック)

活動がスムーズに行われているか、目標が達成できたかを点検



ACTION (アクション)

点検結果からシステムの見直しを図り、新たな目標に向けて活動をレベルアップ



「なごや環境ノート」は、ISO14001の取得をめざすものではありませんが、この取組によって得た知識やノウハウは、将来的にステップアップしてISOの認証取得をめざす場合に役立てていただきたいと思います。

「なごや環境ノート」の活用方法

「なごや環境ノート」は、“P D C Aサイクル”の考えに沿って、簡易な環境管理システムの構築の仕方の説明、環境負荷を把握するための環境チェックシートなどで構成されています。自らの事業所の状況にあわせて、実行しやすい環境管理システムを構築してください。

留意点

- 環境チェックシートに掲げた「環境負荷項目」は、一般的に想定した項目です。たとえば、有害化学物質の使用や大気・水質に影響を与える物質の排出など、自らの事業活動に特有のものがあれば独自のシートを作成し、環境負荷を把握して取組目標を決めることを考えてください。
- 環境管理システムは“継続的な改善”がもっとも重要です。「なごや環境ノート」に掲げた環境負荷項目のすべてについて、最初から高い削減目標を立てて実行することがむずかしい場合には、できるところから開始し、段階的にステップアップしていきましょう。

①環境への負荷量を知る

まず、事業活動がどれくらい環境に負荷を与えているか調べましょう。

(1) 現状を知ることが第一歩です

事業所では、製品を作ったり、運んだり、販売したりする過程でさまざまな資源やエネルギーを使い、廃棄物を発生させています。その中で、どんな活動がどれくらい環境に負荷を与えているのか、自らの事業活動の簡単なフロー図を作成し、事業の流れと環境負荷の関係をつかみましょう。



(2) 利用する環境チェックシートを選択しましょう

オフィス・工場・小売店など業種・業態によって事業活動の特徴はさまざまです。事業活動の規模や内容に応じて、利用する環境チェックシートを選びましょう。

(3) 請求書や伝票などからデータを集めましょう

すでにある資料を有効に活用しましょう。ここで重要なことは、年々の負荷量が同じレベルで比較できるように、データの集計方法を必ず統一することです。

■環境への負荷項目と活用できる情報例

区分	具体的内容	活用できる情報
エネルギー消費	電気、ガス、重油、水、自動車燃料などの使用量	納品書・請求書 支払伝票など
廃棄物	一般廃棄物の排出量	※ (1個あたりごみ袋重量) × (ごみ袋個数)
	産業廃棄物の排出量	マニフェスト伝票
調達・購入	事務用品の購入、原材料の調達、 取り扱い商品の調達	仕入先伝票、納品書、 領収書など

※一般廃棄物については、既存データの活用は困難と思われるので、直接計量するなどしてください。

※紙類の計量については、環境チェックシートの参考数値を参照してください。

(4) 環境チェックシートに記入しましょう

7～12ページの「環境チェックシート」をコピーして使用してください。記入する時間単位は、月単位でも年単位でも構いません。整理のしやすさによって、各自で選択してください。

エネルギー消費量

事業活動で使用している電気や燃料使用量を把握し、使用量の削減が可能か、環境負荷の少ないエネルギー源に代替可能かを検討する材料とします。また、電力使用に伴うCO₂は自らの事業所内で排出されるものではありませんが、電力使用量を減らすことで電力会社の発電所における排出量の一部を低減させることになるため、電力由来のCO₂を環境負荷として把握することとします。

項目	主な用途	使用量①	CO ₂ 排出係数 ②	CO ₂ 排出量 ①×②
購入電力 (kWh)			0.424kg-CO ₂ /kWh	
都市ガス (m ₃)			2.36kg-CO ₂ /m ₃	
L P ガス (m ₃)			6.00kg-CO ₂ /m ₃	
軽油 (kl)			2.58kg-CO ₂ /l	
灯油 (kl)			2.49kg-CO ₂ /l	
A重油 (kl)			2.71kg-CO ₂ /l	
B重油 (kl)			3.00kg-CO ₂ /l	
C重油 (kl)			3.00kg-CO ₂ /l	
合計				

(コピーして繰り返し使ってください)

(CO₂排出係数は年、地域によって異なる場合があります。上記係数は、名古屋市地球温暖化対策計画書記入要領によります。)

●コージェネレーション

一つの燃料から電気と熱の二つの異なったエネルギーを同時に発生させ、それを利用すること。具体的には、ガスエンジンやガスタービンで発電を行うと同時に、発生する排熱を回収して冷暖房や給湯などに利用することで、高いエネルギー効率が得られます。

●燃料電池

水の電気分解と逆の行程で、水素と酸素を化学的に反応させて水とともに電気を取り出すシステム。排出ガスが極めてクリーンで、発電効率も高く、発電の際に発生する排熱が給湯・暖房などに利用できるため、地球温暖化防止に寄与するものとして期待されています。

水使用量

事業活動で使用している水使用量を把握し、使用量の削減が可能なかを検討する材料とします。

項目	主な用途	使用量 ①	CO ₂ 排出係数 ②	CO ₂ 排出量 ①×②
上下水道 (m ³)			0.31kg-CO ₂ /m ³	
工業用水 (m ³)			0.084kg-CO ₂ /m ³	
地下水 (m ³)				
雨水 (m ³)				
合計				

(コピーして繰り返し使ってください)

●中水利用システム

洗面・手洗いなどの雑排水を主に再生処理し、便器洗浄水等に再利用しようというのが中水道です。「中水道」という用語は単に上水道と下水道の中間という意味でつくられたものです。雑排水の代わりに雨水を利用するのが雨水利用システムです。

●洗車はバケツ利用で

ホースを使って小型乗用車を洗うと約240リットルの水が必要です。これをバケツにすると1/8の30リットルに節約できます(目安)。トラックなどの大型車以外は、なるべくバケツ利用を。



廃棄物排出量

事業活動で生じる廃棄物の排出および資源化状況について把握し、廃棄物処理にあたって適正処理がされているか、廃棄量の削減が可能かを検討する材料とします。

項目		排出量 (kg)	処理費用 (円)
一般廃棄物	可燃ごみ	厨芥類	
		紙類	
	不燃ごみ		
産業廃棄物	廃油		
	廃プラスチック		

項目		排出量 (kg)	処理費用 (円)
資源として排出したもの	段ボール		
	オフィス古紙		
	新聞		
	空き缶		
	空きびん		

★計量参考数値例 (名古屋市資料より)

- ・新聞紙 (朝、夕刊) 1ヶ月分・・・6.5kg
- ・段ボール (二つ折りで新聞紙大のもの1箱)・・・500g

●オフィス町内会

事業所から出る紙ごみを効率よく回収・リサイクルする方法として「オフィス町内会」が注目されています。これは趣旨に賛同する事業所が、共同で集団回収を行うものです。共同回収することでまとまった量が確保できるため、1事業所だけでは取りに来てくれなかった少量の紙ごみを資源として回収することが可能になります。

(コピーして繰り返し使ってください)

調達・購入する主な物品

原材料や事務用品などの物品の調達・購入そのものを便宜的に環境負荷と考えます。そして、何を調達・購入し、消費しているかを把握し、その中で特に環境負荷が高く消費量の多いもの、環境負荷を減らす取組が可能である物品についてデータを集めます。

<原材料などの物品>

品名	主な用途	調達・購入量	廃棄量

<事務用品などの物品>

品名	主な用途	調達・購入量		環境配慮型の占める率 (%)
			環境配慮型の占める量	

(コピーして繰り返し使ってください)

●グリーン調達・購入

「グリーン調達・購入」とは、商品やサービスを調達・購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけを目安にするのではなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に調達・購入することです。「グリーン調達・購入」をすすめ、環境への負荷が小さい製品の開発や環境に配慮した事業活動を行うことは、社会経済システムの「グリーン化」に寄与します。

紙の使用量

事業活動で使用している用紙類の使用量を把握し、使用量の削減が可能か、環境負荷の少ない製品に代替可能かを検討する材料とします。

項目	使用量	再生紙使用率 (%)	
		再生紙使用量	
コピー用紙 (kg)			
コンピュータ用紙 (kg)			
ファックス用紙 (kg)			
封筒 (kg)			
トイレットペーパー (kg)			
合計			

(コピーして繰り返し使ってください)

■計量参考数値例 (名古屋市資料より)

A 4 版コピー用紙 (1,000 枚、1 梱包)	4.1kg
B 4 版コピー用紙 (1,000 枚、1 梱包)	6.2kg
トイレットペーパー (1 ロール)	140g
コンピュータ用紙 (連続紙・2,000 枚)	14.3kg
ファックス用紙 (感熱紙・257mm×100m・2 ロール)	2.8kg
角型 1 号封筒 (500 枚、5 梱包、1 箱)	10.0kg
角型 2 号封筒 (500 枚、5 梱包、1 箱)	8.0kg
角型 3 号封筒 (500 枚、5 梱包、1 箱)	6.0kg
長型 4 号封筒 (500 枚、5 梱包、1 箱)	1.1kg

■事業者向け名古屋市グリーン購入ガイドライン

名古屋市では、環境に配慮した製品等の優先的な購入と有効な利用のための指針として「事業者向け名古屋市グリーン購入ガイドライン」を策定しています。

印刷物、用紙・封筒類、文房具、衛生用紙、衣料品等、OA用紙、事務用機器、照明器具、自動車について、購入基準を定めています。

詳しくは、名古屋市ホームページ (<http://www.city.nagoya.jp>) 環境局環境推進課または資源化推進室

■古紙配合率と白色度

- 古紙配合率／再生紙の原料パルプに占める古紙パルプの割合。
数字が高いほど古紙の配合が多い。
- 白 色 度／紙および製紙用パルプの白さを表す度合い。数字が高いほど白く、一般的に使用されているコピー用紙は80%程度。白色度を低くすることで、再生紙の生産コスト低減、生産工程での薬剤使用量の低減が図れる。

自動車燃料使用量

輸送に伴い発生する燃料使用量を把握し、使用量の削減が可能か、低公害車などへの転換が可能か、輸送効率を高められないかを検討する材料とします。車種ごとに使用量がわからなくても構いませんので、小計欄に燃料種別使用量を記入してください。また、使用量がわからない場合、平均燃費×走行距離によって推計する方法により把握してください。

項目	車種	保有台数	使用量 ①	延べ走行 キロ (km)	CO ₂ 排出係数 ②	CO ₂ 排出量 ①×②
ガソリン (l)					2.32 kg-CO ₂ /l	
小計						
軽油 (l)					2.58 kg-CO ₂ /l	
小計						
LPガス (m ₃ ,l,kg)					6.00 kg-CO ₂ /m ₃ 1.68 kg-CO ₂ /l 3.00 kg-CO ₂ /kg	
小計						
天然ガス (m ₃)					2.36 kg-CO ₂ /m ₃	
小計						
合計						

(コピーして繰り返し使ってください)

(CO₂排出係数は年、地域によって異なる場合があります。上記係数は、名古屋市地球温暖化対策計画書記入要領によります。)

●低公害車

従来のガソリン車やディーゼル車に比べて、排出ガス中の汚染物質の量や騒音が大幅に少ないソーラーカー、電気自動車、メタノール自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車などのこと。低公害車の普及は、地球温暖化対策や自動車排出ガス対策の一つとして期待され、今後の技術開発や制度面の整備が急速に進み、普及が拡大するものと予想されています。



②取組事項と目標の立て方

どんな取組を行えばよいか、 どんな目標を立てるべきかを決めましょう。

(1) まずはじめに環境方針を明確にしましょう

環境管理に取り組んで、どのような状態にしたいのか（環境方針）をはじめに明確にしておきましょう。環境方針は事業内容に即して設定します。

(例)

業種・形態	オフィスなら	環境方針	●エネルギー消費量を減らす ●資源の無駄を省く	●廃棄物の発生量を減らす ●環境負荷の大きい事務用品の購入を減らす
-------	--------	------	----------------------------	--------------------------------------

(2) 環境方針に合わせて、環境目標を立てましょう

環境方針がはっきりしたら、次に「環境目標」を立てましょう。ここで大切なことは、努力すれば達成可能な目標を立てることです。立派な目標でも達成できなければ意味がありません。

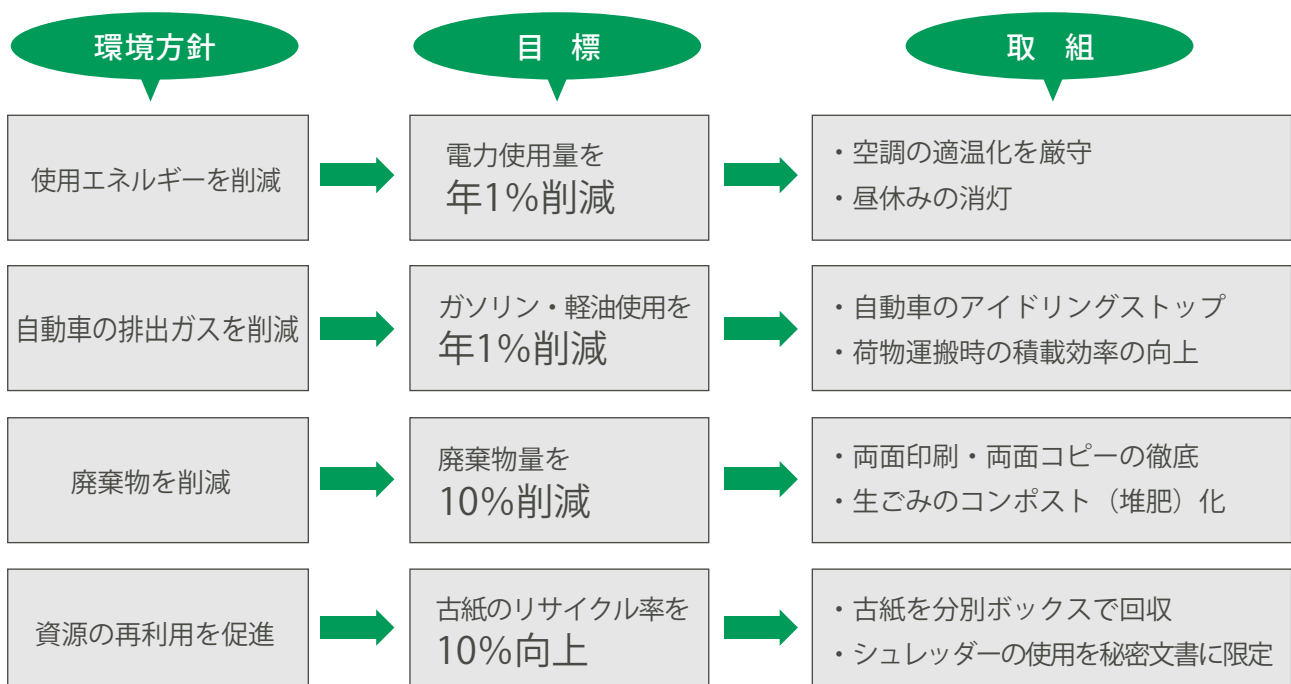
また、目標は取組状況が定量的に把握できる数値目標を立てることが望ましいのですが、難しいときは改善の方向を示す定性的な目標でも構いません。

(例)

環境方針	エネルギー消費の無駄を省く	目標	●電力使用量を年率1%削減 ●CO ₂ 排出量を〇年までに〇年比の5%削減
------	---------------	----	---

(3) 具体的な取組内容を決める

目標が決まったら、目標を達成するため、具体的にどのような取組内容に重点を置くか決めましょう。14～16ページの「目標達成のための取組例」を参考にして選択してください。



目標達成のための取組例

(1) エネルギー消費の無駄を省く

取 組 例
空調の適温化（冷房28℃、暖房20℃程度）を徹底
空調を必要な区域・時間に限定
空調・設備などの細めな点検
照明器具の個別制御で細めに消灯
高効率蛍光灯、インバーター照明などの照明器具の省エネルギー化を促進
二重窓や複層ガラスで建物の断熱性を向上
コピー機、パソコン、プリンタなどのOA機器に省エネ型を導入
コージェネレーションシステムを導入
蓄熱式空調システムを導入
ボイラーなどの効率的な運転を徹底

(2) 資源の無駄を省く（水）

取 組 例
雨水の貯留タンクや専用設備を設置して雨水を利用
汚排水の再利用（中水利用）を実施
節水型の水洗トイレの積極的な導入
トイレに「擬音装置」を付けるなどして節水を促進
蛇口に適量の水を流す機能を持つ「節水こま」を取り付け
水道配管からの漏洩を定期的に点検

(3) 廃棄物の発生量を減らす

取 組 例
使い捨て製品（紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制
紙・金属缶・ガラスびん・プラスチック・電池などを分別ボックスで回収
繰り返し利用できる「通い箱」や梱包材を採用
コピー機やプリンターなどのトナーカートリッジの回収・リサイクルに協力
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用を推進
食べ残しなどの生ごみはコンポスト化（堆肥化）して土壤に還元

目標達成のための取組例

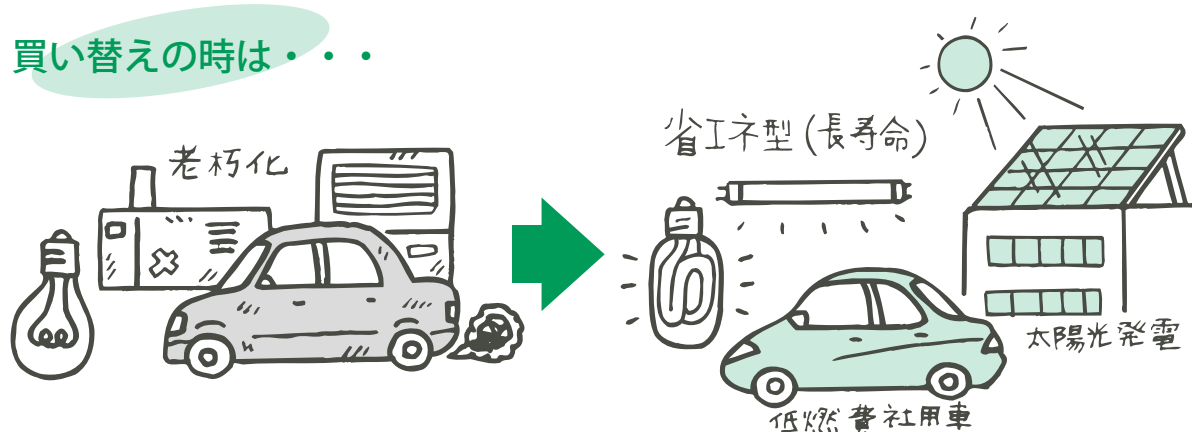
(4) 環境負荷の大きい物品の調達・購入・取り扱いを減らす

取 組 例
エコマーク商品を優先的に購入
再生材料から作られた製品を優先的に購入
無漂白製品（衣料品など）、水性塗料、低ホルムアルデヒドなど環境配慮型の原材料・資材を購入
調達に関する基準とリストを作成し、環境負荷の少ない原材料・中間材を購入
コピー用紙・名刺・印刷物などを再生紙や非木材パルプ紙などへ転換
再生パルプの使用率や白色度を考慮した紙類の発注・使用
再生パルプ使用率や白色度の印刷物への明記

(5) 資源の無駄を省く（紙）

取 組 例
会議用資料や事務手続き資料などの簡素化
両面印刷・両面コピーの徹底
使用済み用紙の裏面の活用
使用済み封筒の再利用
電子メディアなどの利用によるペーパーレス化

買い替えの時は・・・



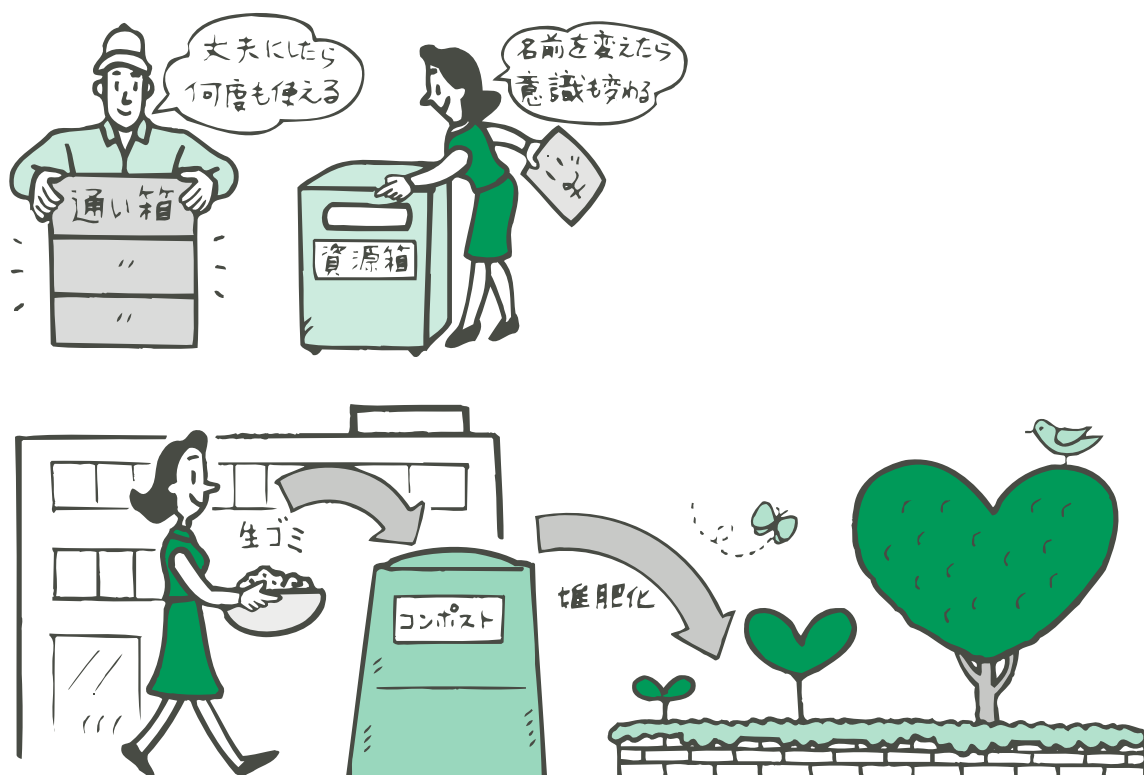
目標達成のための取組例

(6) 物品の運搬活動に伴うCO₂の削減に取り組む

取 組 例
荷物の効率的な積載方法を工夫
小量・多頻度輸送、ジャスト・イン・タイム方式輸送を見直し、共同輸送、鉄道、海運を積極的に利用
最新の排ガス規制に適合した車への代替を促進
電気自動車・天然ガス車・ハイブリッド車などの低公害車を導入
エコドライブ（アイドリングストップ、急発進・急加速の排除など）を実行
カーナビゲーションなどによる最短ルート運転を実施

(7) 環境負荷を低減する間接的な取組

取 組 例
地域での環境保全活動に積極的に参加
定期的に環境教育を実施
社外の講習会・見学会に参加
環境改善の表彰制度を用意
従業員に環境改善を促す小冊子などを配布
消費者等に対して、環境に関する情報提供や啓発活動を実施



③ 行動計画の作成

計画は文書化しましょう。

環境負荷量を把握し、環境方針や具体的目標を立て、これを達成するための取組内容を絞り込んだら、内容を取りまとめた行動計画を文書化しましょう。

その際、経営層の環境に対する方針に基づいて、組織のなかで適切な意思決定の手続きを踏まえて作成することが重要です。

行動計画はできる限り公表し、市民とのコミュニケーションに活用するなど、事業所として環境保全への取組姿勢を表明することが大切です。

計画作成にあたっての留意点

● 計画の年単位での整理や指標の活用を

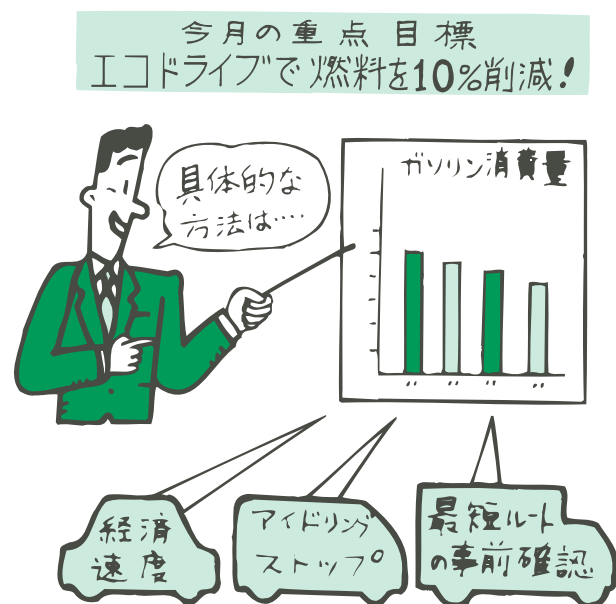
環境チェックシートを使って把握した項目について「年単位」で整理します。経年的な増減の状況や前年度比が把握できれば、計画の進み具合が分かり、見直しもやりやすくなります。また、製品出荷額あたりの数量とか、従業員数あたりの数量など、事業内容に即した指標を用いる工夫も大切です。

● 目標達成のための体制・手順を明確に

計画に掲げた具体的な目標を単なる努力目標に終わらせない工夫も必要です。例えば「オフィスでの電力使用量を2000年度を基準に5%削減する」という具体的な数値目標を設定した場合、『目標達成のために責任者は誰で、いつまでに達成するのか』『省電力機器の導入や昼休みの消灯を具体的にどのように取り組むのか』など、達成のための体制・手順などを明確にすることが大切です。

● 研修や教育で従業員の意識向上を

行動計画を実施する主役は従業員です。行動計画のなかに研修・教育に関する項目を盛り込みます。定期的な研修や教育を実施し、取り組み意識の向上を図ることが大切です。具体的な目標達成のために、従業員が実行すべきことをなるべく文書化して、繰り返し周知する必要があります。



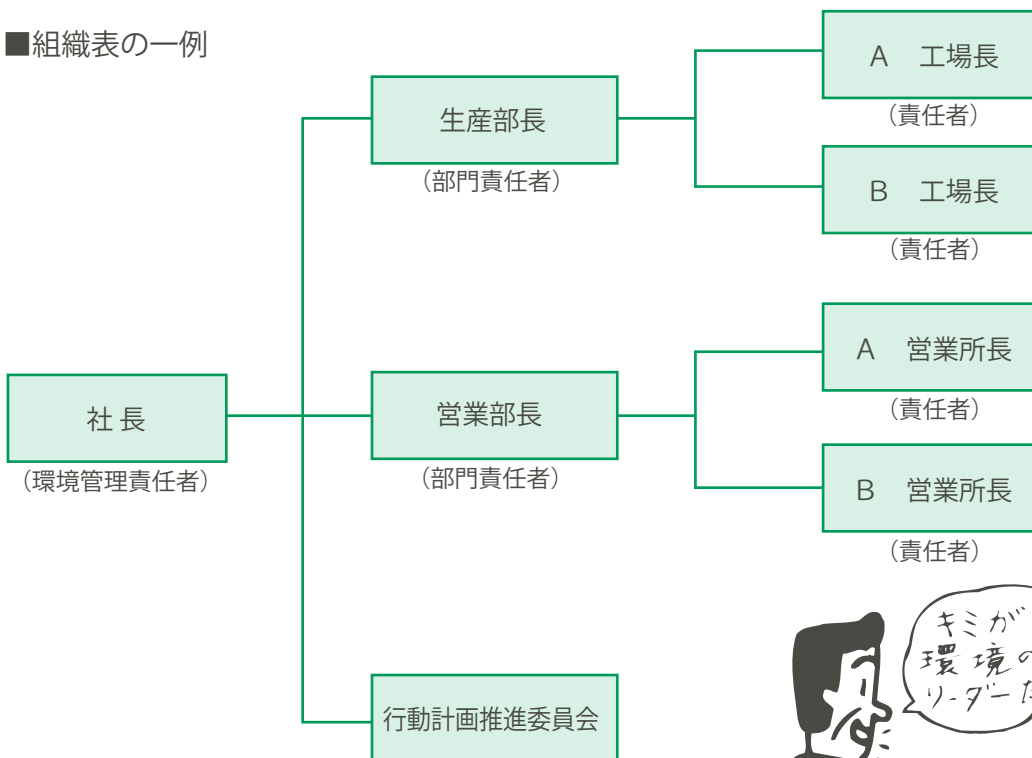
④活動の実施

全員参加で工夫を積み重ね、 継続的に取り組みましょう。

(1) 実施体制を整えましょう

行動計画が作成されても、実施体制があやふやでは「絵に描いた餅」になってしまいます。それぞれの役割・責任・権限を明確にし、経営者をトップにした一体となった推進体制を整備することが重要です。このとき、実施体制の組織表や環境に関する職務権限について一覧表を作成することも大切です。

■組織表の一例



(2) 行動計画を周知徹底しましょう

環境保全の担当者だけでは、行動計画は実施できません。環境管理システムとして機能するには、従業員全体の参加・実践がなにより大切です。社内報・掲示板・朝礼・ミーティングなどあらゆる機会を通じて、行動計画の周知徹底に努め、従業員の自覚を促す活動をしましょう。



⑤活動の点検

活動の進み具合を必ずふりかえりましょう。

(1) 必要なデータを揃えて活動結果をチェックしましょう

目標達成に向けて活動が進んでいるのか点検するため、前述の「環境チェックシート」を使って目標としている項目の環境負荷量を継続的に把握し、活動結果を定期的に点検しましょう。

点検結果は、目標の達成率で評価したり、前年度実績との比較を行なうことが大切です。



(2) 点検結果を全員に周知しましょう

点検結果は取組の意識向上を図るためにも、掲示板や社内報などを活用して全員に周知しましょう。



⑥活動の見直し

定期的に見直しを図ることが「システム」の基本です。

点検結果を踏まえて、経営者自ら環境管理システムの見直しを行ないましょう。

【目標が達成できなかった場合】

システム自体が適切に機能したのか、従業員への周知や教育が徹底されていたのかなど目標が達成できなかった原因を分析し、具体的な取組内容を見直した上、次のステップにつなげましょう。

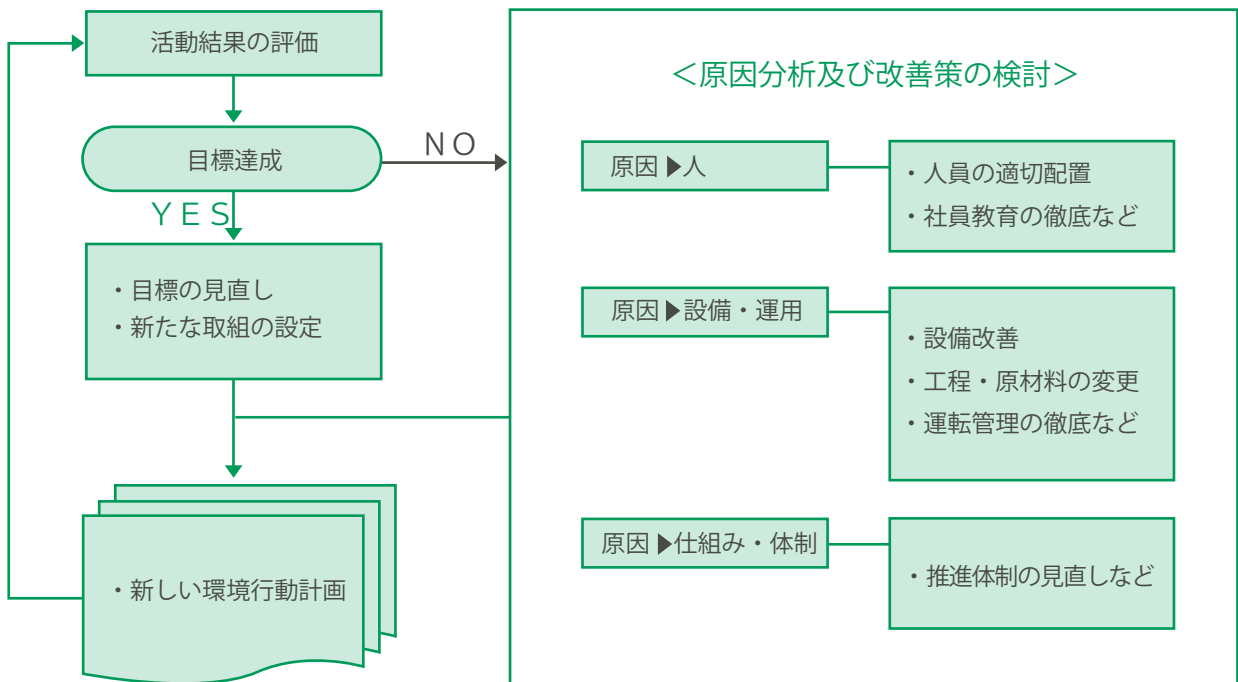
【目標が達成できた場合】

成功した原因や成果を確認し、新しい目標を立てて次のステップへ進みましょう。

こうして、具体的な目標についての成果や未達成原因を踏まえて、システムの見直しの検討を行い、継続的な改善に向けてステップアップしていきましょう。

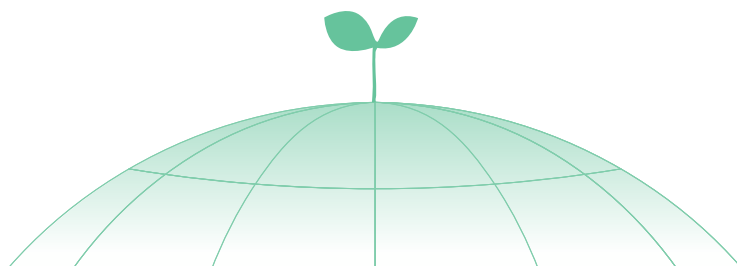


■評価と計画見直しの手順（例）



主な参考資料

本冊子を作成するにあたり、以下の冊子等を参考にさせていただきました。
環境庁：「環境活動評価プログラム」 東京都：「事業活動エコアップ」



お問い合わせ先

名古屋市環境局 環境企画部 環境推進課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目一番一号
TEL (052) 972-2693 FAX (052) 972-4134